

総務課長 山住 哲司 様

医療介護部長 山岡 薫彦

会 議 要 録

名 称	令和元年度第 2 回西予市災害医療対策委員会	
事 務 局	医療介護部医療対策室	
	電 話 0894-62-6407	
	F A X 0894-62-6564	
開 催 日 時	令和 2 年 3 月 2 日(月) 18 : 00 ~ 19 : 15	
開 催 場 所	西予市教育保健センター 4 階大ホール	
出席者	委 員	八幡浜保健所長 竹内豊 西予市医師会長 井関満永 東宇和歯科医師会長 片山貴夫 副市長 宗正弘 厚生常任委員長 源正樹 西予消防本部 消防長 佐藤克也 (西予市民病院)院長 末光浩也 看護部長 兵頭厚美 主任薬剤師 西川幸治 (野村病院)副院長 大塚伸之 看護部長 山本静子 薬局長 弓削博 八幡浜地区施設事務組合消防長 兵藤貞樹 生活福祉部長 藤井兼人 医療介護部長 山岡薫彦 危機管理課長 谷川和久 健康づくり推進課保健師長 佐々木靖子 <p style="text-align: right;">委員 17 名</p>
	随 行	八幡浜地区施設事務組合消防本部 本部警防課課長補佐 和泉政弘
	特 別 出 席 者	健康づくり推進課 保健予防係 土居靖史
	事 務 局	西予市民病院：事務長 松末博 補佐 竹内寿夫(欠) 野村病院：事務長 三瀬功 富永一彦(欠) 医療対策室長 亀岡敦志・医療対策室指導員 河野千恵香

<p>議事内容(要旨)</p>	<p>開会あいさつ(委員長)</p> <p>このような時期ではあるが、コロナウイルス感染症対策についても情報の共有を図りたいので開催することとした。</p> <p>協議事項</p> <p>1 災害医療対策の現状報告</p> <p>八幡浜保健所：初期マニュアルの改訂整備・各種訓練の実施</p> <p>西予市医師会 医療機関毎に訓練している。11/24には三瓶地区の訓練に参加した。</p> <p>東宇和歯科医師会 2/24に県歯科医師会館で災害講習会が開催された八幡浜地区施設事務組合市立八幡浜総合病院の災害医療初任者研修、訓練会に参加</p> <p>西予消防署 各種マニュアルの署員への周知、各種訓練の実施</p> <p>健康づくり推進課 災害時の活動要領や各種様式の見直しを行っている</p> <p>危機管理課 11/24に三瓶地区で内閣府と共催で訓練を実施した</p> <p>議会 BCPを作成中。議会としてできることを実施する</p> <p>西予市民病院 安否確認「てんでんこ」88%の登録者。8月10月12月に返信メール訓練の実施。報告訓練の実施。</p> <p>看護部：当番制でEMIS入力訓練、救護用資材の確認</p> <p>薬剤部：救護所用医薬品は10分程度で準備 できることを確認した 痛み止め等の処方箋も準備する</p> <p>野村病院 DMAT訓練に参加。各種訓練の実施</p> <p>看護部：10/17に訓練を実施。救護用資材の確認</p> <p>薬剤部：救護所用医薬品の備蓄完了。移動診療車と共用しながら流通備蓄として在庫管理している。</p> <p>医療対策室 災害用備蓄資機材。訓練等実施報告「いいやん西予」を媒体とした救護所に関する住民周知番組の視聴</p>
-----------------	---

2 災害後のこころの健康対策

・健康調査 期間：H30年7月～8月

実績：694世帯1,500人

・DPAT 期間：H30年7月26日、8月9日の2回

実績：2回9人

・復興座談会健康相談：

期間：H30年11月19日～令和元年1月16日

実績：7回40人

「被災者こころのケア体制整備事業」を実施

・いのち支える西予市自殺対策計画（概要版）説明
質問）災害と自殺の関連はないか

回答）データ収集中

意見）長期的な取組みになるが地道に推進してほしい

3 新型コロナウイルス対策

・八幡浜保健所：全ての情報をマスコミに公表する時代。知事報道が正解で全てプレス通り。県の体制は、疑わしい人は帰国者・接触者外来や夜間は県庁へ電話相談窓口を設置している。直接医療機関へはいかないように啓発している。感染者が一堂に会すること医療機関に集まることを避けるための対策を行っている。

遺伝子検査は20～30の検査をしているが初めての陽性者が確認された。感染は接触と飛沫が主。対策は感染予防。正しい情報に基づく行動を。デマにまどわされない。高齢者施設や医療機関の面会禁止。イベント延期など継続することが重要。インフルは例年より増えていない。医療機関に負担をかけないよう1～2週間様子を見て今後の対応を決める。

・西予市医師会：相談センターへ行かないで直接受診する患者が多い。その人たちへの対応に苦慮している。本当にコロナ陽性だった場合の院内感染対策は、ハード面では難しい。職員にはマスク手洗いを徹底し、換気、消毒などが現実的。職員は37.5度の熱があれば出勤しないように徹底している。業者は裏口から入るような対応をしている。

・東宇和歯科医師会：感染予防を徹底。掲示物（発熱等）を掲示。従事者が感染源にならないように自己管理を徹底するよう努めている。

・議会：明日、市長からコロナの説明がある。マスクは全員着用。傍聴は可としている

・八幡浜地区施設事務組合：普段から救急隊は情報が少ない中で活動している。隊員を罹患させないことが重要。救急活動を介した間接的な感染を防止することを大きな目標として対応している。

市立八幡浜病院は感染症 2 種指定病院。2/4、2/17 に合同の会議、研修会を開催し、市立八幡浜総合病院で患者移送及び受入れの手順について、現場で確認しながら意思統一を図った。警戒本部を設置し 6 回の会議を開催。四国で初の陽性者が出たこともあり、最悪のシナリオを想定した事前対策として、1 名を隔日勤務から日勤勤務に配置換えしコロナ感染対策担当の専任を置いた。県内で陽性者が出たことで、警戒本部から対策本部へ移行した。西予市民病院が感染症 2 類の指定医療機関。今後もこのような会議開催時には職員派遣又は消防長が出席するのでお声かけいただきたい。

・西予市消防署：119 通報時の対応。3 点の聞き取りを行う。

37.5 以上の発熱の有無

呼吸器症状

14 日以内の渡航歴。濃厚接触の有無。

県内で陽性者がでたことで他の設問も検討中。搬送対応。署員の感染防止対策の徹底。

・野村病院）長期処方に対応。接触者窓口もシミュレーションしているが状況に応じては市民病院に相談することになるかもしれない。

・西予市民病院：全職員に対し 37.5 度以上の発熱者は自宅待機。毎日検温すること。

発熱外来を設置した。感染症病床は 2 床ある。情報が日々変わる。夕方毎日感染対策委員会を開催し新しい情報を共有している。本日から面会禁止とした。住民は、高齢者が多い中で無関心に病室は行ってくる人もある。面会禁止としたら住民は怒るので強制できないが感染対策として必要。CATV など活用しながら住民に普及啓発してほしい。入口を 1 箇所にするなど対応している。

・健康づくり推進課：2/28 西予市新型コロナウイルス感染症警戒本部を設置し、イベントや会食は自粛とした。

	<p>3/2 県内で陽性したことを受け警戒本部から対策本部へ切り替えた。</p> <p>市内小学校は 3/25 まで休校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危機管理課：対策本部が設置され危機管理計画に基づき全庁的に対応をしている。 <p>対策本部の設置・イベント自粛・公立小中学校休校への理解・1～2週間の拡大防止などについて、市長がコメントをだした。</p> <p>【質疑】</p> <p>委員：コロナ情報の市民への周知は方法はどのようなことを行っているか。</p> <p>健康づくり推進課：ホームページへ掲載している。ホームページを閲覧できない人への周知は検討中。</p> <p>閉会あいさつ（副委員長）</p> <p>各委員からの災害対策への取組みや被災者等への心の健康対策について報告をいただきました。いつ発生するかわからない大規模災害に備えて有事の際に実働できるよう訓練等を重ねてまいります。</p> <p>また、新型コロナウイルス対策につきまして竹内保健所をはじめ委員の皆様から現時点での情報を提供いただき、共有することができました。この新型コロナウイルスに關しましては国の対策も刻々と変わっていくことが考えられます。今後、全市をあげての災害対応が必要になることも想定しながら体制を整備しておかなければなりません。</p> <p>その際には、災害医療対策委員の皆様にもお力添えいただくことが必要になると思いますのでよろしく願います。</p>
備	考